

## 多忙な年度変わり

3月4月は卒業式や入学式・入社式に人事異動と続き、あわただしい時期が続きます。我国の社会が12月31日（除夜・おおつごもり）を区切りとしていた江戸時代から現在の3月31日を年度の区切りとする時代になりましたが、欧米では9月始まりが主流の様です。

ヨーロッパでは、伝統的に小麦を収穫する農作業の忙しさが夏に集中しており、親も子も一段落する9月頃からスタートさせると就学が容易であった様です。

我国も明治維新のはじめ頃には一時期9月始まりであったようですが（1872年学制公布）その後官公署の会計年度が紆余曲折を経て4月始まり（1886年実施）となり、学校も次第に一本化していき、1921年に全国で統一されました。

現在では財政法と学校教育法で4月1日はじまりと決まっていますが最近グローバルズムということで企業決算期の見直しが検討され、学校が9月スタートに変更する動きが散見される他、政治的に暦年制移行を唱える動きもあります。

いずれにしても入学時期や年度の変更は国民生活に大きなインパクトを与えますので慎重かつ大胆な取り組みをお願いするところです。

尚、次号では今4月度からの不動産にかかわるいくつもの新設・改正の動きを記載し、皆様のご参考に供したいと思っています。（岡本 秀巳 社長）

## 町家の日 2023 が今年も開催

年間約2%ずつ減少している京町家の保全・再生を目的とし、弊社も加盟している京町家情報センターの主催により、今年も「町家の日」のイベントが開催されました。

同センターでは（一社）日本記念日協会において「3月8日」を町家の日として登録し、町家のことを考えるきっかけになって欲しいとの想いから毎年、「町家の日 week」として全国各地で様

々なイベントを開催しており、今年は3月4日～12日の期間で京都では36のイベントが行われました。

イベントの一つとして今年も町家川柳を募集したところ全国から930句の応募があり、弊社も協賛として副賞「こうしど賞」の賞品を提供しました。

### 【町家の日文豪賞】（大賞2作）

おーいお茶 返事あるのは 隣家から（作：あざみのかかし）

この家の 歴史と私が 刻む今（作：市川京）

### 【こうしど賞】〈都ハウジング賞〉

坪庭で 小さな四季を 独り占め（作：うにどん）

（ほか副賞5作、18歳以下特別賞1作、佳作6作）



末筆ながら、この度一身上の都合により円満退職致すこととなりました。在職中は一方ならぬご厚誼、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。（管理営業部門 荒川 博 次長）

## 時代の変化に想うこと

2020年から働き方に大きな変化がありました。コロナ感染症の影響もあり、テレワークが推奨されたりフリーランスや副業が勧められたりしています。こうした今まで当たり前や良しとされたことに疑問を持つようになり、これまでの物質的な豊かさが求められた時代で、お金や地位や名声など目に見えるもので評価されてきて人よりいかに良い生活ができるかに重きが置かれてきましたが、それらは一新して個を大切にすることが時代になってきました。何かの為に自分を犠牲にしたりせず、独自の個性が重要視され、今までの常識や価値があるものが変わっていき、ニューノーマルな世界へと進んでいこうとしています。仕事は縦社会の考えがなくなり、個性を活かして活躍するのが当たり前になっていき、資産の価値で言うと、資本主義の社会に変わりはないが、お金が一番という考えが変わってきています。現在は対価としてお金が支払われているが、これからの時代は情報や物との交換になると言われています。

物の価値は所有することよりも共有することが重視され、シェアするという考えが広まります。シェアハウスや、カーシェアリングなどすでにありますが、どんどんと共有する時代へと拡大していきます。また、生活環境も変わり、家でも仕事ができるし、買い物もオンラインで済ませられると、今までは便利さを求めて主要都市に集まっていたものが、これからは地方で活躍する人も出てくると思います。

【過去のキーワード】 お金、物質、所有、固定、安定、組織、縦社会、成功、常識

【現在のキーワード】 情報、共有、流動、革新、循環、個人、繋がり、心の喜び、助け合い  
古い考えや仕組みはどんどん変化していくので、柔軟な考えが必要になってきます。

私は、高齢者住宅（老人ホーム）の仲介を担当しています。よく耳にするのは、介護従事者の人手不足ですが、AI ロボットが施設や自宅で介助するようになる日がそう遠くないような気がします。  
(高齢者住宅部門 栗津 真由美)



府立植物園にて撮影 (2023.4.2)

## 高野山に参拝、心を洗う



宝亀五年（西暦 774 年 6 月 15 日）にお生れになった弘法大師空海のご誕生 1250 年の大法会が行われる高野山に夫婦で初めておまいりしてきました。

当日はあいにくの雨天でしたが傘を指しての参拝者が多く根強い大師信仰がうかがえました。高野山は大師が真言密教を日本に広め僧侶が修行するための道場として開かれた仏教の聖地ですが、その後に関宗した仏教各宗にも影響を及ぼし、比叡山延暦寺と共に日本仏教のインキュベーターの役割を果たしました。

大師がご入定された奥之院燈籠堂地下法場で手を合わせ「南無大師遍照金剛」ととなえ、灯明の先の大師の肖像が心の目差しに写ったように思えました。  
(社員 M. K)

### 社休日

4月19日（3水）

29日（土）

30日（日）

5月17日（3水）

毎月第3水曜日は定休日です

GWは5月3日（水）

～5月7日（日）休業